

## 令和6年度 学校運営連絡協議会実施報告書

## 1 組織

- (1) 都立桜町高等学校 学校運営連絡協議会（定時制課程）
- (2) 事務局の構成 = 経営企画室主事、副校長 1 名（書記兼務） 計 2 名
- (3) 内部委員の構成  
校長、副校長、経営企画室長、教務主任、（書記・生活指導主任） 計 4 名
- (4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）  
世田谷区立三宿中学校夜間学級副校長、世田谷区教育委員会適応指導教室相談員、玉川警察署少年係長、専門学校広報本部本部長、地域商店街振興組合副理事長 計 5 名

## 2 令和6年度学校運営連絡協議会の概要

## (1) 学校運営連絡協議会の開催

- 第1回 令和6年 6月21日（金）内部委員4名、協議委員5名  
委員委嘱（協議委員名簿・内部委員名簿）、令和5年度学校経営報告、令和6年度学校経営計画、本校の現況報告、意見交換、意見聴取、他
- 第2回 令和6年11月22日（金）内部委員4名、協議委員4名  
（欠席・世田谷区教育委員会適応指導教室相談員、）  
本校の現況報告、令和5年度学校評価アンケート（学運協委員・教職員・生徒・保護者、4種）について、説明、配布、回収、意見交換、意見聴取、他
- 第3回 令和7年 2月14日（金）内部委員4名、協議委員3名  
（欠席・世田谷区教育委員会適応指導教室相談員、専門学校広報本部本部長）  
本校の現況報告、令和5年度学校評価アンケート結果、令和6年度学校評価のまとめ、説明、質疑、「学校が良くなったかどうか」についてのアンケート配布、回収、意見交換、意見聴取、次年度に向けた桜町定の取組み、他

## (2) 評価委員会の開催

- 第1回 令和6年 6月21日（金）内部委員4名、協議委員4名
- 第2回 令和6年11月22日（金）内部委員4名、協議委員3名、欠席委員へは後日資料送付、昨年度実施の問題点・改善点、今年度の学校評価の実施に向けた検討  
学校評価アンケートの作成・検討、調査方法、方法確認、結果の分析・検討、報告について
- 第3回 令和7年 2月14日（金）内部委員4名、協議委員3名、欠席委員へは後日資料送付、令和6年度学校評価のまとめの主な点の説明、結果発表、次年度に向けた改善点、事務連絡

## 3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

## (1) 学校評価の観点

「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。

## (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

令和6年11月後半に生徒・保護者・教職員・地域関係者に実施した。

- ・11月 全校生徒 対象：23人 回収：22人 回収率：95.7%
- ・11月 保護者全員 対象：23人 回収：15人 回収率：65.2%
- ・11月 協議委員 対象：5人 回収：4人 回収率：80.0%
- ・11月 教職員 対象：8人 回収：8人 回収率：100.0%

## (3) 主な評価項目

・※学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、施設・設備・いじめ・学校対応などの評価項目を集約し、学校実態に合わせて適宜設定する。

## (4) 評価結果の概要（学校及び校長への意見・提言内容）

アンケートの集計より、評価が低い項目や気になる質問に絞り、改善点をさぐる。

【学運協協議委員の集計より】評価のほとんどがA、Bのどちらかで、C、Dはなかった。学校に対して非常に好意的に評価を頂いていると感じる。近年はこの傾向が続いている。協議委員からも常に平均以上の評価を頂き、定着していると受け止める。今年度はBの回答が少ない。主な項目を記してみる。

⑤ 学校の施設・設備は、衛生的に管理されていると思いますか。⑨ 生活指導に当たって、保護者との連携が図られていると思いますか。⑪ 進路指導は、指導方針が明確に示され、保護者との連携が図られていますか。桜町高校定時制の閉校は、影響が大きい。不登校傾向の生徒は年々、増加している。交通安全教室での講師派遣は継続的に実施している。さくら祭りやねぶた祭りでは、連携や協力体制がある。学校の施設・設備は安全を重視し、大規模改修を行っている。閉課程に向けた取り組みが課題となっていくと思われる。

【教員の集計より】日常的に生徒との関わりを基に生徒理解を進めており、全般的に生徒との関係は、良好

と捉えている。生徒との関わりは、個別対応を軸に面談や声掛けを中心に試みている。やはり評価の低い項目を挙げてみる。① 学校の経営方針が教職員で浸透し、教育課題に日常的に取り組んでいると思いますか。

⑤ 学校の施設・設備は、衛生的に管理されていると思いますか。⑭ 部活動や生徒会活動が活発ですか。教育課題というより日常的な登校状況や、授業への取り組み姿勢等の改善に取り組む傾向が強い。学校施設等は、築年数が古く老朽化している箇所が目立つ。部活動や生徒会活動は、継続活動しているが現状維持。

【保護者の集計より】毎年全家庭の保護者を対象として、保護者へアンケート用紙を配布するが、今年は例年に無く回答数が多い。特に1年生の保護者から、好意的なご意見を頂いているが手厳しい内容も見られる。回答全体的にCの評価が存在する。評価的には下がるが、学校や子供への関心が伺え、期待と捉え教育の向上に努めたい。また家庭での様子と学校での生活態度に乖離があるやにも取れる。授業公開等、広く活用して頂きたい。多感な時期とは思いますが、家庭での日常的な関わりや学校での出来事を話題とし、一歩踏み込んだ関係構築を望みたい。

【生徒の集計より】生徒へのアンケート結果は、C、Dの評価が増えた。これをどう捉えるか、良き改善に繋げたい。生徒の回答で、特に評価の低い項目を挙げてみる。⑤ 学校の施設・設備は、衛生的に管理されていると思いますか。⑥ 今、学校に通う目的は何ですか。⑦ 授業はわかりやすく、適切なスピードで進められていると思いますか。学校施設の老朽化は、アンケート対象者全般が、特に感じているということが、明確に表れた。改修も良いが、改築が望まれる。本校定時制課程を選んだ生徒達は、高等学校の卒業資格取得を強く目指している傾向も明らかとなった。日常の授業は基礎・基本の徹底や小・中学校の復習が主で、教える側はゆっくりのペースと思っているが、実際受けている生徒側からすると、分かりにくかったり進度が早かったり感じていた。学校評価アンケートの結果を踏まえ、改善箇所を探り授業は基より日々の、学校生活に生かしていく。在籍する生徒に対し、本校ならではの視点を生かし、次年度最後の4学年在校体制に向けて取り組む体制を築き、閉課程に向けた集大成とする。

#### 4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

基礎・基本の徹底により、授業の充実と定着を図る。家庭との連携も継続課題である。多様な生徒に対して適切な指導を行い、教育活動を丁寧に行い、一人も取りこぼさない教育の実現に取り組む。

##### （1）学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・来年度の課題；基礎・基本の徹底を図り、授業進度を緩め丁寧な授業実施の必要性を確認。
- ・生徒自身よりたくさん話を引き出し、意見を言わせることが肝要で、褒めることが大切である。

##### （2）学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・今年度の成果：生徒・保護者・教職員が学校施設の老朽化を感じていることが明確となった。
- ・生徒の家庭での様子と学校での生活態度に乖離がある。

#### 5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

##### （1）学校運営

- ・学校行事への参加促進を図る。生徒・保護者・学校の連携強化を重視する。

##### （2）学習指導

- ・基礎基本の徹底を図った授業充実、及び日常の授業進度のペース配分を生徒の様子を確認しながら、授業展開や実施を図る。

##### （3）特別活動

- ・日常の放課後部活動の人員確保と継続的な活動の実践を図る。

##### （4）生活指導

- ・日常の出欠指導を丁寧に行い、家庭との連携の緊密を図り実行していく。

##### （5）進路指導

- ・本人と保護者と学校の三者が緊密に連携し、希望する進路実現を目指す指導を図る。

##### （6）健康・安全

- ・基本的生活習慣の定着を図る。自転車通学者の交通ルールへの順守と、ヘルメット着用を図る。

#### 6 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合 （1）協議委員人数 5人 回答4人

| そう思う | 多少そう思う | どちらとも言えない | あまりそう思わない | そう思わない | 分からない | 無回答 |
|------|--------|-----------|-----------|--------|-------|-----|
| 3    |        |           |           |        | 1     | 1   |

#### 7 その他

- 今更ながら。閉課程が決まった本校が残念でならない。悔いの残らない残年度を継続していく。